

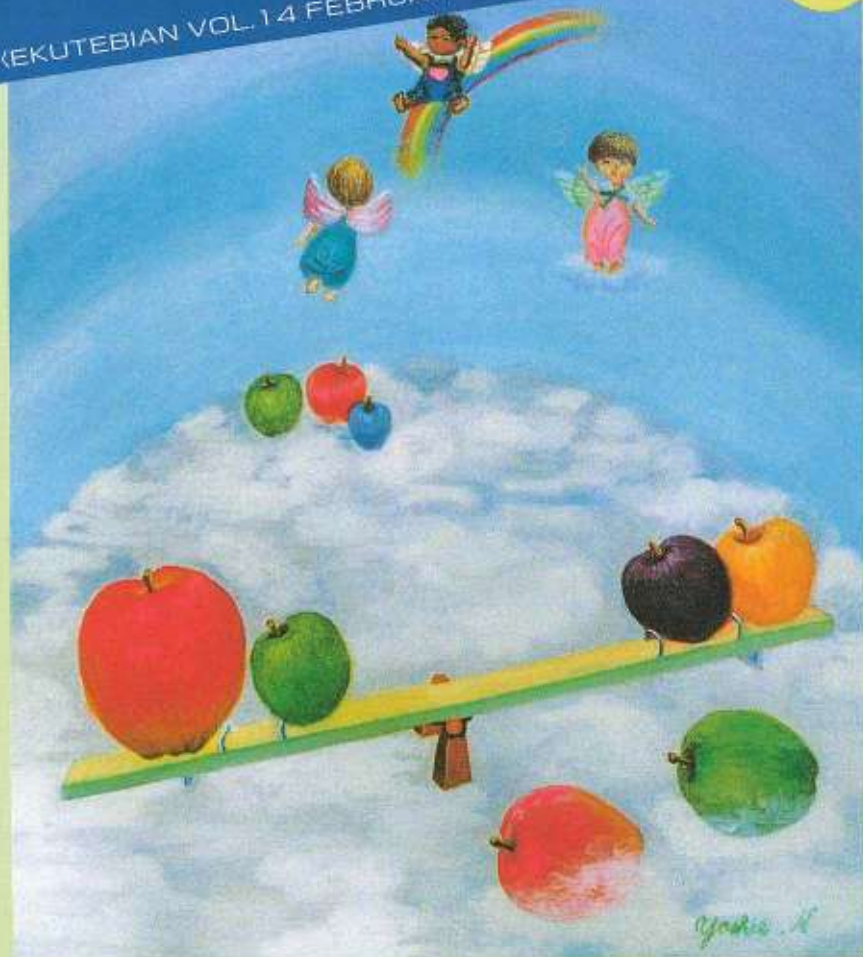
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

〈EKUTEBIAN VOL. 14 FEBRUARY 1986 EKUTEBIAN〉

2



まい あーと ■油絵「雲の上(II)」by 野本 由江



## 高尾山薬王院・蛇滝



この東京にも「自然」は多く残されている。今年「滝」を追ってみよう。開山以来千二百余年法燈の絶えることのない名刹、高尾山薬王院に修験者の水行道場のひとつである蛇滝がある。水行とは「滝水を仏そのものと見たて、打たれることによって心身を洗い成仏する道」をいう。北風の中、行を修していった修験者たちの声が聞こえてきそうな重厚さと清浄な空気を感じさせる滝である。



正式名称は、新義真言宗智山派大本山高尾山薬王院有善寺。関東三十六不動霊場の第八番札所でもある。高尾山の北側、真高尾にある修験者の水行道場が蛇滝。本堂には青龍大権現が奉納されている。





さすがに「マエダマ」を知るお母様方の、繭を彫る手際の良さ。



一方、本物の繭を知らない世代。お米の粉をこねるのも初体験。



石臼に立てられた木の枝に、マエダマをつける。七夕と勘違いしてるのは誰だあ？(右端が市川さん)

繭玉

# マエダマ のある 小正月

毎年小正月の頃になると、一年の無事と豊作を祈る行事が家々で行われました。「マエダマ」作りもそのひとつ。マエダマとは繭玉(まゆだま)のこと。養蚕が盛んだった多摩の農家では、繭を象ったお団子をカシやケヤキの枝に刺し、蚕の神様「蚕影山」の掛軸の前に奉って豊作を祈りました。行事の終わりには飾った団子を小豆の粥にして、家中でいただく…。今もこの習わしを続ける市川保男さんご夫妻(富士見町3丁目)に教わりながら、小正月の一日を過ごしました。



「蚕影山」の掛軸。農作物は神様の贈り物。掛軸は家々にあった。



団子は玉繭の、みかんはサビマネ(染みがついた繭)の意味がある。



かつても家中みんなで小正月を祝った。若いも若きも、男も女も。



協力：立川市歴史民俗資料館



表紙

立川らしい街づくりと街の活性化を目的とした生活都心。たちかわデザイン賞が設けられて六年が過ぎた。立川はフルールの開通を控えている。これから立川が市民に愛される街並景観を造りだしていくには、どのような道を目指すべきか。長年建築評論活動をされたたちかわデザイン賞に、回からデザイン賞に労を折られてきた審査委員長の長谷川亮さん(武蔵野美術大学教授)に話を伺った。

「生活都心。たちかわデザイン賞に携われた経緯をお聞かせください。」  
「以前から、街並みの審査や景観審査の方でやってまして、その関係から立川の商工会議所の建設部の方から何か生活に関するデザイン賞を設けたいと相談を受けました。まったく最初から始めるわけですから、どんな賞にするかから始まりいろいろアイデアをしながら商工会議所の方々と一緒にやってきたわけです。街並みのデザイン賞は、立川に限らずいろんな所で毎年行われて来ています。立川もいろんな意味で戦後の混乱期を脱した新しい街並みづくりにしなければいけない時期になってきた。だからデザイン賞を設けることでもう少し街並みというのに関心をもちてもらおう、という運動の一端として考えられたんだらうと思います。」  
「多くの街でデザイン賞が設けられているとデザイン賞が設けられていない街に比べて、立川は日本には例外的な街だといえる。海外の街並みを見た人は持っていると思うんです。何か一番違うかというところは「ファサード」に対する意識が非常に弱い。ファサードに目を向けていない。ファサードに目を向けていない。ファサードに目を向けていない。」

「立川はほとんど都市化されて発展してきていますが、その中で農地は非常に大切だと思っています。都市というものは農地もふくめた開発がおこなわれるのが本来の姿だと思えますが、そういう一種のオープンスペースをうまく都市景観の中に取り込んだ形であればいいですね。農地を宅地にするケース。最近ではあまりないが、そういう場合街づくりの建築のプロたちが協力していい住宅地をつくる、そのように試みをしています。例えば建て売り住宅をつくる時でもデザイン的に工夫したり、街並みに提案するようなものになれば非常に面白いものができると思うのですが。」  
「最後に今後のデザイン賞や立川の街についてお聞かせください。」  
「前回のデザイン賞で立川市長賞は受賞した。あれだけのものができたということは評価されて当然なのだが、そういう大きなものだけでなく、もう少し小さな建築家も目を向けていきたい。例えば商店のインテリアなど。この賞にもどんどん応募されるようになってくると活気がでてくると思います。またファサードなどは夜や暗くなって賑わいがいなくなる。やっぱり夜十一時くらいまでは人通りがあつたら安全で賑わいもあつて、本来の都市の活気というものが夜にもほしい気がしますが、歌舞伎町などはいいわなくともある時間までは賑わうという場所があつてもいいんじゃないでしょうか。」  
協力 立川商工会議所建設委員会



▲立川市長賞 (国立病院 東京災害医療センター) ▲立川商工会議所建設委員会賞 (イムマヌエル綜合伝道団立川キリスト教会) ▲うるおい文化賞 (立川市街路灯) ▲立川商工会議所新会賞 (吉澤ビル)

# 第6回 生活都心たちかわデザイン賞 受賞作品



「生活都心。たちかわデザイン賞に携われた経緯をお聞かせください。」  
「以前から、街並みの審査や景観審査の方でやってまして、その関係から立川の商工会議所の建設部の方から何か生活に関するデザイン賞を設けたいと相談を受けました。まったく最初から始めるわけですから、どんな賞にするかから始まりいろいろアイデアをしながら商工会議所の方々と一緒にやってきたわけです。街並みのデザイン賞は、立川に限らずいろんな所で毎年行われて来ています。立川もいろんな意味で戦後の混乱期を脱した新しい街並みづくりにしなければいけない時期になってきた。だからデザイン賞を設けることでもう少し街並みというのに関心をもちてもらおう、という運動の一端として考えられたんだらうと思います。」  
「多くの街でデザイン賞が設けられているとデザイン賞が設けられていない街に比べて、立川は日本には例外的な街だといえる。海外の街並みを見た人は持っていると思うんです。何か一番違うかというところは「ファサード」に対する意識が非常に弱い。ファサードに目を向けていない。ファサードに目を向けていない。」

「立川はほとんど都市化されて発展してきていますが、その中で農地は非常に大切だと思っています。都市というものは農地もふくめた開発がおこなわれるのが本来の姿だと思えますが、そういう一種のオープンスペースをうまく都市景観の中に取り込んだ形であればいいですね。農地を宅地にするケース。最近ではあまりないが、そういう場合街づくりの建築のプロたちが協力していい住宅地をつくる、そのように試みをしています。例えば建て売り住宅をつくる時でもデザイン的に工夫したり、街並みに提案するようなものになれば非常に面白いものができると思うのですが。」  
「最後に今後のデザイン賞や立川の街についてお聞かせください。」  
「前回のデザイン賞で立川市長賞は受賞した。あれだけのものができたということは評価されて当然なのだが、そういう大きなものだけでなく、もう少し小さな建築家も目を向けていきたい。例えば商店のインテリアなど。この賞にもどんどん応募されるようになってくると活気がでてくると思います。またファサードなどは夜や暗くなって賑わいがいなくなる。やっぱり夜十一時くらいまでは人通りがあつたら安全で賑わいもあつて、本来の都市の活気というものが夜にもほしい気がしますが、歌舞伎町などはいいわなくともある時間までは賑わうという場所があつてもいいんじゃないでしょうか。」  
協力 立川商工会議所建設委員会

中島豆腐店 羽衣町2-12-34 ☎22-5723	むぎばたけ 錦町2-1-1 ☎26-0210	ほわいとほうす 柴崎町2-9-28 ☎24-1610
和風レストラン 蔦屋 羽衣町2-27-14 ☎26-3698	池田屋商店 錦町2-1-10 ☎22-3731	ビジネスホテル クボタ 柴崎町2-12-23 ☎22-1122
珈琲屋 らうむ 羽衣町2-27-9 ☎26-3643	寿屋酒店 錦町2-1-13 ☎22-3625	いなげや 立川南口店 柴崎町2-12-24 ☎26-2947
立川商店 羽衣町2-30 ☎22-3565	三田花店 錦町2-5-23 ☎24-4187	寿司 由 柴崎町2-2-8 ☎22-3733
泰明堂 羽衣町2-31-1 ☎22-3353	TAPAS 錦町2-2-29 ☎29-0733	輪々館 柴崎町2-12-17 ☎22-8100
文具の ないとう 羽衣町2-33-1 ☎22-3677	ロッテリア 立川南口店 幸町4-38 ☎37-4413	南関田酒店 柴崎町2-2-17 ☎24-2960
洋菓子サロン ケーキスタジオ35 羽衣町2-6-1 ☎27-6808	たちばな 幸町5-2-16 ☎37-0347	ユウ都市企画 柴崎町2-3-13 ☎28-2566
おそい時計店 羽衣町2-32-2 ☎22-5211	自然食 ばれあな 高松町2-1-23 ☎24-4560	ラ・パンパ 柴崎町2-3-3 ☎24-5800
多摩中央信用金庫 柴崎支店 柴崎町2-66-1 ☎36-9711	多摩画材 高松町2-1-25 ☎22-6031	コミュニティストア はなむら 柴崎町2-3-9 ☎22-2491
手打ちそば 倍更 柴崎町5-12-1 ☎37-0991	洋菓子 マリアン 高松町2-10-22 ☎24-3912	オーロール焼きたて 立川店 柴崎町2-4-15 ☎27-9473
相模屋酒店 柴崎町5-61-8 ☎36-2476	山梨中央銀行 立川支店 高松町2-16-13 ☎26-1571	北京大飯店 柴崎町2-4-19 ☎22-6393
森田接骨院 柴崎町6-6-25 ☎35-6240	新藤青果店 高松町2-3-13 ☎22-6443	ななや 柴崎町2-4-22 ☎25-6980
Coffee Shop 遊香 錦町1-4-24 ☎27-3840	丸助青果店 高松町2-4-18 ☎22-3542	田中星美堂薬局 柴崎町2-5-3 ☎22-3913
和菓子処 ゆうき 錦町1-8-5 ☎25-0780	肉の専門店 伊勢屋 高松町2-6-20 ☎24-2734	菊川園 柴崎町2-5-6 ☎26-2035

## えくてびあんの輪

人があつて、街があります。  
あなたがあつて、立川があります。  
そこにちょっとだけ、えくてびあん!  
リストのお店にはいつでも えくてびあん!

café コロラド 柴崎町2-5-8 ☎26-2285	和光証券 立川支店 柴崎町3-8-2 ☎24-1321	ホワイトハウス フロム中武 曙町2-11-2 ☎25-8558
スタジオ 269 柴崎町2-8 ☎27-0269	東京都民銀行 立川支店 柴崎町3-9-21 ☎22-7107	ケンタッキーフライドチキン 立川南口店 曙町2-12-16 ☎28-2636
東陶房 柴崎町2-9 ☎25-0079	美容室 リラ 若葉町1-11-1 ☎36-3048	伊勢丹 立川店 受付 曙町2-12-2 ☎25-1111
ロッテリア 立川南口店 柴崎町3-1-3 ☎22-3928	みふじサイクル 若葉町1-12-4 ☎36-7166	三菱銀行 立川支店 曙町2-13-3 ☎24-4121
笠井紙店 柴崎町3-13-24 ☎22-8601	紀ノ国屋 立川店 若葉町1-13-2 ☎36-1604	トボス 立川店 曙町2-18-18 ☎25-0331
矢沢歯科 柴崎町3-16-2 ☎25-6600	エッソ石油 柴崎店 若葉町2-1 ☎35-3081	オリオン書房 第一デパート店 曙町2-2-25 ☎23-3311
前原紀ノ川 柴崎町3-4-3 ☎25-5825	大晋商事 曙町1-23-9 ☎25-3110	印章の宝 山堂 曙町2-4 ☎25-0111
ラ・フィネ 柴崎町3-5-2 ☎25-2179	オリオン書房 ルミネ立川店 曙町2-1-1 ☎27-2311	アルピオン 曙町2-4-28 ☎25-3824
ヨシダ貴金属店 柴崎町3-5-4 ☎22-2448	ビューティーナカ ルミネ立川店 曙町2-1-1 ☎27-6917	お菓子の家 エミリーフロアゲ 曙町2-4-28 ☎27-4138
東京相和銀行 立川支店 柴崎町3-6-17 ☎22-2171	東京赤十字医療センター 立川南口 曙町2-1-1 ☎27-1140	アンキョフェエミリーフロアゲ 曙町2-4-30 ☎26-1818
オリオン書房 柴崎町3-6-27 ☎25-3111	朝日カルチャーセンター 立川 曙町2-1-1 ☎27-6511	クリムト 曙町2-4-30 ☎26-3030
あさひ銀行 立川支店 柴崎町3-6-29 ☎22-4161	ロッテリア 立川ルミネ店 曙町2-1-1 ☎24-7433	第一勧業銀行 立川支店 曙町2-4-30 ☎22-5151
イスパニスタ 柴崎町3-6-3 ☎22-2969	オルゴール館 ゲーシーハウス 曙町2-3-7 ☎25-2588	シェ・タスケ 曙町2-5-14 ☎27-5959
入船寿司 柴崎町3-6-32 ☎22-2474	立川リージェントホテル 曙町2-11-7 ☎22-1133	さくら銀行 立川支店 曙町2-6-11 ☎22-2151
サンカメラ 柴崎町3-7-22 ☎22-3336	喫茶アパン 曙町2-17-15 ☎27-4479	サヴィニ 曙町2-7-10 ☎25-1662

### 早とちり

向田邦子さんを、砂川昌平さんに紹介しようと思ったことがある。もし、それが実現していたら、きっとあの二人は、生涯「仲の良い友達」になっていたのにも、思う。砂川さんは、竹の子のまじめな性格が得意だった。もたえ焼きとは、おだやかな命名ではないが、つまりは揚りたての竹の子の皮をチリチリとめくられるように焼き、その様はあたかも十二単衣のお姫様が、火あぶりになっている。まだまだ趣味の良い命名とはいえないが、砂川さんは、なぜかこのまじめな焼きが気に入っていた。砂川さんは、なぜかこのまじめな焼きが気に入っていた。砂川さんは、なぜかこのまじめな焼きが気に入っていた。

### 真如苑だより

「福は内、鬼は外」と元氣な声で福豆をまき厄をよげる節分。本来は四季が移り変わるときをいいます。翌日が立春といえどもまだまだ寒い日が続く二月。真如苑で心をこめたおたけおたけをしてお待ちいたしております。  
日時 2月19日(日) 2時~4時  
御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしております。  
■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」(本誌を手渡してくれた人)へ。

## えくてびあんエッセイ No.37

### 表紙は語る

まいあーと 油絵  
「雲の上(II)」 by 野本由江  
油絵を描きたくなって、野本さんが連れていったのが現在の所属している朝の会のグループ展。誘われるまま入会して5年が経つ。花、せきもの、風景などテーマを変え描きすすむうちに野本さんのキャンパスに多く登場するようになったのが、林檎。「一日に一個は必ず食べます」というほど林檎の好きな野本さんが、以前大好きな林檎をうまく描けず苦心してるとき、眺めるだけで「食べたいなさい」と会の先生よりアドバイスを受け、実際に食べることでうまく描くことができたという。とすると忘れがちな、知る、このことを通して林檎に教えてもらった。野本さんの「林檎」は夢のような絵に、それを裏打ちする現実感が欠かせない。この人を見るに語っているような気がする。

### ウォッチング

### サイレン・トイレ

救急車についているような、赤い回転灯を乗せた公衆トイレが東町緑地内の舗道にある。この回転灯は中に入った後、30分以上ドアの開閉がない場合に点灯し、外に異常を知らせる仕組み。市の緑地公園課によればこの回転灯タイプのものは、後にも先にも此処1台。現在の主流はブザー(音)が鳴るものだが、この技術革新、身近では公衆トイレの場合にしか見られないことが不思議といえは不思議。

### 東風

俗にホコトンと呼ばれる「歩行者天国」がその姿を消しつつあるという。この世に「天国」を実現してみせようとする心意気を失うだけでも残念でない。なんでも、パーフォーマンスの行き過ぎで近所迷惑なのではないか。だが、もともと大道芸と都市とは相性がよいのではないだろうか。ヨーロッパをはじめ、世界の都市へゆけば、必ずと云ってよい程に大道芸を見物することが出来る。特にラテン系の民族は得意とするようだが、口から火を吹く者、鎖を断る者、百貫は越えようという重い石を持ち上げる者、「大道芸なんてのは無い方が清潔で美しい街づくりが出来るとも知れない。人が人間らしくあるという視点からしたらどうだろうか。もちろん、一つのクラスに優等生ばかりがいるよりも、休み時間に芸能人のものまねをしてみせるヒョーキな生徒がいる方が活気に満ちている。有楽町駅に立つて「街頭詩人」をしていかなることがある。厳冬の大地から寒さがわいてくるような日にも、駅頭に立つて自作の詩集を売っていた。あれも街頭の芸人活動であったかと思ふ。立ち止まる者、若者が何かをしようとする。NOと云わない街であつてくれたら、と思う。うぐすや、えくてびあんの朝月夜。

### 三回定期展 立川 木村武山展

開催中

### 月刊 えくてびあん 第37号

平成八年二月一日発行  
発行所 えくてびあん編集工房  
東京都立川市曙町2-17-15  
杉田ビル6F 〒198  
電話 0425(28)0082  
FAX 0425(28)1297  
編集者 立井登介  
印刷所 株式会社



ミサワホーム・特別プログラム

# 渡辺篤史のふれあいトーク



## ■渡辺篤史氏プロフィール

1947年 茨城県生まれ。  
テレビ朝日の番組「渡辺篤史の建築探訪」(毎週土曜日7:30am  
~8:00am放映)で好評を博し、住宅に関心を持つ異種がたの必  
見番組となる。  
テレビドラマ「にあんちゃん」でデビュー。他にテレビ番組で  
は、NHK「マー姉ちゃん」など、ナレーション、映画、CM  
に出演多数。趣味は、作陶、建築設計。

■日 時：平成8年2月12日(振替休日) PM13:30~16:00  
■会 場：ファール立川 立川ビジネスセンタービル12階  
立川商工会議所 大会議室  
立川市曙町2-38-5 TEL.0425-27-2700代

■定 員：100名(定員になりしだい締切させていただきます。)

■参加費：無料

■プログラム：13:30 受付開始

13:45~14:00 開演挨拶

14:00~14:50 **ふれあいトーク**

「渡辺篤史と人と住まい」

休憩 (コーヒーブレイク)

15:00~16:00 「これからの住宅の性能について」

講演/ミサワホーム株式会社 鈴木卓哉



終了

## ■会場ご案内図



お申し込み・お問い合わせは

※お申し込みは、お電話にてお願いいたします。

多摩中央ミサワホーム株式会社

「渡辺篤史のふれあいトーク」事務局 担当：宮崎・笠原

フリーダイヤル

# 0120-710-338



住み3代・100年のおつきあい

## 多摩中央ミサワホーム

本社/東京都立川市赤堀町4-1-6 〒190 TEL.0425-27-3381(代)  
営業所/西荻野・府中・東村山・国分寺・立川・八王子・羽村